

市民ワークショップの結果について

1 ワークショップの目的

障がい者の高齢化や、障害者自立支援法の改正など、障がい者を取り巻く環境は変化してきています。その中で、障がい者がこれからも住み慣れたまちでいきいきと暮らしていくために、いま清須市では何が課題となっているのか、何が必要かについて、市民の皆さまから生の声をいただきたいと考えており、それを反映した計画書にするため、ワークショップを開催しました。ワークショップは、清須市の障害者計画に市民の生の声を少しでも多く反映させることを目的としています。

2 ワークショップの実施概要

| | 第1回目 | 第2回目 |
|------|---|---|
| 日時 | 平成23年4月27日 18:00~19.30 | 平成23年5月12日 18:00~19:30 |
| テーマ | 障がい者が安心して住み続けられる清須市とはどんなまちか | 理想のまちにするための、取り組みや事業を提案しよう！ |
| 参加者 | 身体障害者協会会員、女性の会会員、手をつなぐ親の会会員、精神障害者家族の会会員 …等 | 身体障害者協会会員、女性の会会員、手をつなぐ親の会会員、精神障害者家族の会会員 …等 |
| 参加人数 | 18人 | 17人 |

第1回目のテーマ：障がい者が安心して住み続けられる清須市とはどんなまちか

ワークショップ第1回目では、まずワークショップの趣旨や、進め方についてご理解いただけるよう、説明しました。

そして、「障がい者が安心して住み続けられる清須市とはどんなまちか」について意見をいただき、理想とする清須市の像について話し合っていたいただき、意見を共有しました。

また、課題が出た場合は、その課題がクリアされたまちとはどんなまちかについて話し合っていたいただきました。

第2回目のテーマ：理想の街にするための、取り組みや事業を提案しよう！

ワークショップ第2回目では、各グループで第1回目に出た「障がい者が安心して住み続けられる清須市とはどんなまちか」のまとめの項目に対して、解決策を提案していただきました。

個人や地域・ボランティア等ができそうなこと、あるといいなと思うこと、行政にこういう事業があるといいなと思うこと等について付箋等を利用し、一日目と同じように話し合いながらまとめていきました。